

■ 自然観察ウォッチング「絶滅危惧種カワラノギクの観察と相模川ふれあい科学館見学ツアー」

令和元年11月16日(土)、「絶滅危惧種カワラノギクの観察と相模川ふれあい科学館見学ツアー」が開催されました。参加者13名、役員・会員4名、事務局2名に加え光明学園OB・OG4名、明治大学 倉本先生が合流し総勢24名のツアーとなりました。

集合場所の市民会館よりバスに乗り込み、さあ出発です。まずは光明学園相模原高等学校に移動しました。そこでカワラノギクの保全活動をされている理科研究部の先生と生徒さんからカワラノギクの生態や活動内容について分かりやすく説明をしてもらいました。その後、保全活動の場である河原へと移動し実際に咲いているカワラノギクを観ながら、保全の難しさ、大変さについてお話を聞くことが出来ました。

お昼を挟んで、相模川ふれあい科学館に向かいました。科学館では副館長に案内していただき、普段は見ることの出来ないバックヤードも見学することが出来ました。バックヤードでは飼育中の珍しい魚達とも出会え、また、餌やり体験もすることが出来ました。館内の展示も工夫がなされており、参加された市民のみなさんは楽しい一日を過ごされました。

(青山学院大学 佐久間)



実施日：令和元年11月16日(土)

会場：光明学園相模原高等学校、相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら 他

講師：光明学園相模原高等学校理科研究部、相模川ふれあい科学館

参加者数：13人

参加役員・会員：(一財)生物科学安全研究所、日産自動車(株)、青山学院大学、大和ハウス工業(株)